

□ 要請番号 (JL32416B06)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パラグアイ	G112 陸上競技		個別	交替 2代目	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

スポーツ庁

2) 配属機関名 (日本語)

パラグアイ陸上連盟ミシオネス県協会

3) 任地 (ミシオネス県サンタロサ市) JICA事務所の所在地 (アスンシオン市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 4.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は国内の陸上競技大会の開催、運営、その他国内のコーチ、審判の指導、育成等を担っている「パラグアイ陸上連盟」(1947年設立)の傘下にある組織である。現在、配属先では投てきの種目を中心に強化選手の育成及び裾野拡大のために積極的な普及活動を行っている。現在、投てきの種目でパラグアイで活躍しているトップアスリートたちの多くがミシオネス県出身ということもあり、2015年よりJV(専門種目:投てき)が1名派遣され活動中である。同人の指導の貢献もあり、2016年5月には外務省スポーツ外交推進事業により配属先関係者5名が日本で開催された国際大会及び研修に参加した実績もある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

パラグアイにおいては陸上競技の知名度は未だ低く、全体的な競技人口も少ない現状である。配属先では、今後の陸上競技の発展に向けて競技人口を増やし、優秀な人材発掘・強化することが目標の一つとなっている。特に投てきの種目においては、現在活動中のJVの協力により競技人口の増加、技術の向上が顕著であり、配属先関係者からも高い評価を得ている。今後も引き続き継続的な技術指導が必要とされているため本要請に至った。また、パラグアイ陸上連盟は、2020年開催予定の東京五輪出場をも見据えており、科学サポートを取り入れたトレーニング・研修会の導入をボランティアと共に計画している。活動先地域であるミシオネス県周辺は、パラグアイ陸上競技の重点強化地域の一つであるため、配属先は本計画を遂行する上でも、技術指導のできるボランティアの派遣を強く望んでいる。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. ボランティアがコーチとして連盟に所属している生徒に陸上競技に関する技術指導を行う。
 2. 陸上競技一般のエリート層の選手に対して国際大会で活躍できるまでのレベルを目指した強化練習を行う。
 3. 競技人口の裾野拡大のための普及活動を行う。
 4. 近隣の小学校を巡回し教員に体育(陸上競技一般)の指導を行う。
- ※1. 2. の活動は主に投てきに関する指導を行う。

活動時間:14:00~19:00(月~土) 午前中は学校巡回などを行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

陸上競技場、各種競技用の道具

4) 配属先同僚及び活動対象者

会長 女性 50代
コーチ 男性 35歳
生徒数約30名(男20名、女10名) 12歳～21歳

※主に短距離、長距離、投てきの選手が在籍しているが、中でも投てきの選手が多いのが同配属先の特徴である。

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（競技経験）5年以上 備考：業務遂行上必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖湿潤気候） 気温：（0～40℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

土トラックの陸上競技場で活動を行います。